

第19回 西船（葛飾）地区市政懇談会議事録

日 時 平成20年 7月12日(土) 午前10時～正午
開催場所 葛飾公民館 講堂

<質問事項>

- ・ 船橋市民文化ホールの改築または新施設の建設について
- ・ 交差点の信号機の新設・改善について
 - ア) 既存の信号機を時差式信号機又はスクランブル信号機への改善について
 - イ) 国道14号線東中山駅入口の信号機の改善について
 - ウ) 県道原木中山線・中山競馬場入口交差点に右折矢印の付いた信号機の設置について
- ・ 市道葛飾・印内線（00-052号線）の歩道の整備について
- ・ 葛飾小学校・中学校の児童生徒数適正規模の維持について
- ・ 京成東中山駅にエレベーターの設置について
- ・ 道路の側溝に蓋がかけられていない部分の整備について
 - ア) JR北側の西船5丁目21番地先から東中山1丁目19番地先間の用水路について
 - イ) JR南側の側溝の蓋かけについて・歩道の改修工事について
- ・ JR西船橋駅付近の環境整備について
 - ア) 北口ロータリーから国道14号線間の駐車禁止取締りの強化について
 - イ) 北口周辺における風俗関係者の迷惑行為の取締りにについて
 - ウ) 国道14号線「みずほ銀行」から「JA西船橋」周辺の違法駐輪やバイクの違法駐車取締りにについて
- ・ 通行禁止区間における児童・生徒の安全対策について
- ・ タバコのポイ捨て、路上喫煙禁止区域の延長について
- ・ 旧葛飾川の下水道上部利用計画について
- ・ 葛飾小学校校舎の老朽化に伴う耐震補強工事について

・船橋市民文化ホールの改築または新施設の建設について

【質 問】

懇談会ということで、私の要望を申し上げたいと思います。表題にもございますように「船橋市民文化ホールの改築または新施設の建設について」お話をさせていただきたいと思います。近隣各市にも色んな文化施設があるかと思えますけれども、市長初め皆さん方も文化会館、文化ホールについては十分、各市がどんなものがあるか、ご存知だと思います。例えばお隣の市川市では大ホールで 1,945 名、小ホールで 444 名収容の文化会館を初め、市民会館、あるいは行徳文化ホール等の施設をお持ちでいらっしゃいます。また松戸市では大ホールが 1,955 名、小ホールで 516 名、森のホール 2 1 という施設と市民会館、あるいは演劇専門の市民劇場等もお待ちしております。その他にも習志野市、浦安市、千葉市と、各施設をお持ちであろうかと思えますが、当市の各施設と比べていかがでしょうかということをお聞きしたい。またそこで行われてた演奏会や演劇会にどんな方々が使われているのか。今年 2 月に船橋アリーナで第 1 5 回千人の音楽祭が行われました。小中学生の方々を初め高校生それから一般の方々の器楽合奏であるとか、マーチングであるとか、合唱であるとか、逆に観客の方が見たくても入れないほどの盛況でございました。参加者の熱気に感激いたしました。しかし体育館でございますので、音響的にはなかなかいいものではございませんでした。また先ほどもお話が出ました全日本合奏コンクール中学校の部で、当地の葛飾中学校の皆さんが最優秀賞を受賞されました。これは本当に素晴らしいことだと思っております。その報告会が 3 月に当市の市民文化ホールではなくお隣の習志野文化ホールで行われました。こちらの施設は著名な演奏家が演奏するような素晴らしい施設でございますので、演奏会も素晴らしいものでございました。1,500 名収容の施設ですが立ち見が出るような状況でした。その渦中のお話のように当市の音楽、あるいは演劇と文化活動レベルというのは大変高いものがあるのではないかな、全国レベルで比較しても相当のものではないのかなあと思えます。市長さんからもお話ありましたように、そういったことが基礎になって各学校とも誇れるような生徒が大勢生まれているというのも現実ではなかろうかと思えます。当市の人口も 6 0 万人になろうとしています。マンションとか住宅が続々出来て新しい市民の方が増えております。中核都市として安全で快適な地球環境を保つためにも、心の豊かさや文化的なゆとりが何よりも必要だと考えております。そのためには文化を創造し、発信する、こういったホール施設の技術をぜひお願いしたいと思えます。財政的な問題もあろうかと思えますが、ぜひ実現させていた

できればありがたいと思っております。市としてのお考えをお聞かせいただければと思っております。

【回 答】

船橋市の音楽のレベルの高さや、その活動に対し、的確な評価をいただきまして有難うございます。本市はどうしても、スポーツ宣言都市をしております関係から、市船を初めとして各小中学校の活躍もあって、スポーツの船橋というイメージがあるわけですが、ご指摘いただきましたように、音楽に関しましても大変素晴らしい地域の活動、実績を残しております。例えば、昨年の全国合奏音楽コンクールで船橋市葛飾中学校が内閣総理大臣賞、文部科学大臣賞、全国一位という快挙となったわけでございます。他にも合唱の部門ではNHK全国音楽コンクールで咲が丘小学校が千葉県代表として関東甲信越大会に出まして銅賞をとりました。また、TBSの子供音楽コンクール、小学校の合唱部門でも塚田小学校、それから咲が丘小学校がそれぞれ素晴らしい成績をあげました。

船橋のホールについて市内にはホールと言われるものが、市民文化ホール、勤労市民センター、市民文化創造館「きらら」、がございます。そのうち1,000人以上の集客が出来るという施設は市民文化ホールのみでございます。このホールは昭和53年7月に開館しまして、今年で30年を迎えますが、多くの市民団体に使用され、演劇、舞踊、後援会、映画会、音楽会などの多目的な利用に対応しております。年間の稼働率は県内の公共ホールの中でも最も高い水準を維持しており、市民の皆様にも親しまれているホールでございます。しかし、ご指摘がありましたように多様なジャンルの催しに対応可能な反面、本格的な音楽の演奏会に最適な施設というわけではございません。またJR船橋駅前の平成15年に開館いたしました市民文化創造館「きらら」につきましても音響機能を重視したホールではございませんので、多目的ホールとして位置づけたホールでございます。お勤め帰りに気軽にお立ち寄りいただける「寄り道ライブ」を初め、本格的なアーティストの演奏に接していただけるような事業の実施、また文化、芸術活動の場の提供など高い評価を得ているところでございます。

市民文化ホールの新設についてでございますけれども、全国的にどの自治体も大変厳しい財政状況下にあるわけですが、本市におきましても例外ではございません。そのため市としても、必要な市民サービスを低下させずに健全な財政の基に勤めているという状況下でございます。現在新たなホールの建設の予定は、ございませんが、今後市民文化ホールの建替えに

当たりましては、専門家の皆様のご意見を十分参考にしながらより良い施設を作って市民の皆様が活発に文化芸術活動が出来るようにしてまいりたいと考えております。また市民文化ホールの施設設備の改修につきましては、舞台機構、設備改善工事をはじめ舞台照明設備改善工事、客席内の改修工事など順次進めながら努力しているところでございます。今後とも公民館、学校、文化ホールなどがより一層の連携を図り、優れた文化芸術が享受できる機会や活動の場を提供してまいりたいと考えておりますので、ご理解の程お願いしたいと思っております。

・交差点の信号機の新設・改善について

ア) 既存の信号機を時差式信号機又はスクランブル信号機への改善について

【質 問】

国道14号の競馬場の入り口交差点より競馬場方面に向かいまして2つ目の信号でございます。ここは通称、布亀の交差点と言っているんですが、近くに布亀という会社があるもので、そう言っているのかなと思えますが、場所的には西船6丁目6番地先でございます。近年マンションの増加に伴い通勤者、通学児童の往来も急激に増えております。狭い脇道からは若宮方面から車と思うんですが、競馬場道路に出るための抜け道になっております。朝の通勤、通学時は過密状態で小中学生だけでも400名以上の利用があります。ここの信号は青になっても時間が短いせいか、渡りきれず残ってしまうという状況にあります。信号機周辺は信号待ちの場所も狭く、自転車なども非常に通行も多く危険な状況にあると思えます。通行者の安全ばかりでなく車両の安全通行のためにも、早急に人と車を分ける時差式信号機、またはスクランブル式信号機に改善をお願いしたいと思います。また、待機場所が狭いものですから付近の土地を買収していただき拡張するなど改善をしていただきたいと思います。財政的、地権者の問題等があると思えますが、改善の程よろしく申し上げます。

【回 答】

布亀のところの交差点の信号機の関係と歩行者の溜まりの関係でございますけれども、まずご指摘の西船6丁目6番地先の交差点は接道している市道03-009号線でございますが市川市若宮方面からの抜け道となっております。通学路でありながら朝の通学時間帯の車の通行量が多いことは十分承知しております。平日の朝、お子さんたちが多く登校してい

る時間帯、7時から8時の間、立ってみておりましたけれども、西側のほうから来るお子様が多い状況でございました。西側の方、マンションが色々建ってきております。それで、生徒・児童の方が増えているということは、十分私の方も理解しております。信号機の歩車分離信号への切り替えでございますが時差式よりも恐らく、安全なのは歩車分離式信号だと思います。信号機の交差点においては、右折車両の巻き込み等により交通事故防止については有効な手段とは思っております。しかし、県警のほうに伺いますと、信号機の現示が映える。今、縦と横のそれぞれの赤、青、そういうものの現示について2つでございますが、歩車分離になりますと歩行者のみの現示が増えますので警察のほうとしては、県道の交通渋滞を考えると非常に難しいと言う見解は持っております。この路線は、競馬場の入り口（交差点の入り口）から、北方の競馬場の北にあります北方十字路まで、県警本部の管制センターによるコンピューター制御になっております。その部分だけを直すということも非常に難しいということも県警のほうから伺っておりますが、私共と致しましては歩車分離信号につきましては市内で16箇所ございます。その内に国道・県道が5箇所ございます。昨年は1箇所、南三咲の方で歩車分離信号が出来ましたので、私の方も歩行者、子供さん達の安全並びに車両、通行の安全も含め、県警並びに地元の警察署の方へはお願いしていく考えでございます。警察のほうへ伺いましたところ、市道の方の信号が、今までは14秒ぐらいが青の時間帯と聞いておりましたけれども、現在、交通量も多いという事で18秒に、今改善しているという事を伺っております。あと歩行者溜まりにつきましては、お子さんたちが渡る時、ドッと渡ります。そのことが非常に多いことを見受けましたので、溜まり等も含め私の方で現地を色々調べまして対応していきたいと考えております。

イ) 国道14号線東中山駅入口の信号機の改善について

【質 問】

次も、抜け道に関するようなものですが、これは市長が市長さんになられてから毎回出ている問題なんですけれども、この交差点は、松戸市の6号線の方から京葉道路あるいは湾岸道路へ向かう道路が渋滞している為に、抜け道として利用されている。そして京成の東中山駅を通過して14号線に出てくる。そして二子町の方へ行くんですけれども、この交差点は、押しボタン式の信号になっていまして、それが結構50秒位待たされます。その間に、人は車が来ないと渡ってしまう。そして今度は人がいない状態

の時に車が止まっているというような状態になっています。車を運転している者からすれば、何で人がいないのに赤になっているのだというふうに思うでしょうし、また上の方から車が来た場合には、国道に1回出て左折して今度は右折するという状態がありますので、時々事故が起こっております。それで警察と事故を起こした人の話を聞いていると、前が見えなかったのかと、というような事を言われています。見えれば当然事故は起こっていないはずなんです、実際は見えていないから事故が起こっているというようなことだと思います。そこで、この信号を改善してもらおうのがひとつですけれど、押したらすぐ青信号になって、すぐ渡って、すぐ車が通れるような状態にってもらおうのが一番いいんですが、出来ないのであればこの交差点を隣に15mほど離れた所にT字路があります。そこを一体化した信号にして、交通事故の起こらないような信号に改善していただきたいと思えます。

【回 答】

信号機の関係で、国道14号線、東中山駅入り口の信号機は押しボタン信号になっております。押しボタンを押してすぐ青になる場合と、切り替わって車が走っていてそれで押しても、40秒近く待つようでした。押しボタンは押せばすぐ青になるというのは交通渋滞を招いてしまいますので、そういうことは出来ないかなと思えます。それでこの二つの交差点、片一方は田島建材の所は信号機がついておりませんので、これをひとつにということですが、ひとつの信号機で距離のある交差点ですので、この処理は非常に難しいと思っております。両方の交差部に信号機を設置すれば二つの信号機を連動させての交通処理は可能かと思えますが、警察の方に相談しますと、信号機、直近に2つの信号は、なかなか難しいという意見がございます。駅入り口の交通の流れ、田島建材のところを右に曲がって南に南下する流れなどを調べてみないと、信号をどういう形での対応がいいのかははっきりわかっておりませんので、これにつきましては現在警察の方に、また、最近南側のマルエツの所で事故がございましたので、県警と地元警察、市の方で立ち会っており、信号設置要望もありますので、今協議しております。これも含めてここの信号処理については、改善について申し入れていきます。信号機の移設・新設につきましても、なかなか難しいもので、移設については警察の方も話にはのってくれますので、この横断歩道のある信号、押しボタンを取って田島建材の所の角、ここの部分も事故等が多いという事ですので、こちらに動かすことは可能かなというこ

とは、警察の方から言われております。ただ駅へ行く方の導線もありますことから、二つのところの交差点については安全な信号処理が必要なのかなと考えております。平成19年1月から12月まで1年間に、事故が多発しているということでございますので、確認を致しましたら、人身が4件で、物損が6件ということでもあります。これにつきましても私共十分、事故が多いという事で認識しておりますので警察の方に再度申し入れをしていきたいと思っております。

ウ) 県道原木中山線・中山競馬場入口交差点に右折矢印の付いた信号機の設置について

【質 問】

国道14号線と交差する県道原木中山線、中山競馬場入り口の交差点の信号ですが、現在入り口には矢印の信号がついてはいますが、この点につきましては毎回色々要望を致しているところですが、現在改善はされておられません。交通量が以前と比べますと非常に、多くなっているというような状況でありますし、交差点における事故も起きております。先月末、夜間ではありますが、競馬場の方から下りてきた車が信号の所で人身事故を起こしています。このような状況で設置が遅れている理由と致しましては県による道路の拡幅のための買収が遅れている点もあろうかと思っておりますけれども、14号線の信号機は既にもう右折の信号はついているわけです。何年もかかる用地買収だと思っておりますので、国道14号線の信号機と同様に右折の矢印も懸案でありますので、信号機の設置を早期にお願いしたいと思っております。

【回 答】

国道14号と県道松戸原木線の交差点の、中山競馬場入り口でございますが、現在14号の方の導線につきましては矢印が市川方、船橋方の両方に付いております。ところが縦の方ですけれども、南側の、原木の方から来る道は右折レーンがございます。あと直進と左折になっています。ところが中山競馬場から下りてくる道路につきましては、ひとつの導線だけでございますので、そこに右折レーンが出来れば完全な処理は出来ることになっております。この右折レーンの設置のためには毎度ご説明の通り、用地の拡幅が必要になってまいります。現在、面積で約60%の進捗率でございます。県の方も、競馬場の先までやっておりますので、一度には出来

ない状況であったと思います。それで北側にあります西船跨線橋については、終わっています。市川の北方交差点のところも、だいぶ改良が終わりましたので、引き続きこの部分の整備につきましては、県の方をお願いすると同時に出来るだけ協力していく覚悟でございます。

・市道葛飾・印内線（00-052号線）の歩道の整備について

【質問】

市道葛飾・印内線の歩道の整備についてであります。市道葛飾・印内線におきましては、朝晩の通勤・通学の歩行者の方が大変多くおります。特に京成西船、西船から葛飾中学校の間は通勤の方と通学の方がすれ違い為に歩道を歩くことが多く見受けられ、危険防止の上からも拡幅をお願いしたいと思っております。この件につきまして、過去2回の市政懇談会でも要望いたしておりますので、現在の進捗状況及び今後の見通しについてお聞かせ願いたいと思います。

【回答】

市道葛飾・印内線の歩道整備についてであります。この道路は、国道14号の交差点から京成線の踏切を越えた所まで、延長約260mにつきましては、平成22年度末を完成目標に整備を進めているところでございます。一部歩道、暫定ですけれども広がっているかとは思いますが、この事業につきましては、現在、用地買収率が57%、20年度末には約7割に達する予定でございます。踏み切りの拡幅につきましても、この道路12m、歩道が両側2.5mずつでございます。踏み切りも同じ幅に広がる予定でございますので、京成電鉄の方とも協議中でございます。また、その北側、葛飾小、葛飾中学の方に向かう道路計画は、この道路と同じで歩道幅員は2.5mということで、これにつきましては葛飾中学校まで、約310mでございます。私共と致しましては、今施工中のところから北に130m、葛飾小がでございます。それで310m行きますと葛飾中がございまして、区切りとしてこの事業の進捗、現在7割でございますので、今年度中、京成踏切も含めまして引き続き事業化に向け努力してまいりたいと思います。

・葛飾小学校・中学校の児童生徒数適正規模の維持について

【質 問】

当地区はマンション、並びに戸建ての家がたくさん出来ております。学校で見ますと全校の生徒数が1,443名、新入1年生が252名というような非常に生徒数の多い学校になっております。従って先程から布亀の交差点とか、色々と大変な問題がたくさんありますが、それと同時に校舎自体がもう足らなくなっているという状況でございます。今まで、会議をやるのもひとつの教室でやっていたんですが、今はないもので、理科教室を会議室に使っているというような状況でございます。プレハブで教室の増築ということも考えておられるようですが、6月の施工の開始ということで8月完成というお話は聞いておりましたが、現在かかっている状況にあります。もちろん応急対策はよろしいのでありますが、もっとこの葛飾の西船地区の学校区という事を聞いただけでもマンションが売れる状況になります。従ってこれからの学校の維持について、生徒数に対し教室の不足の分については、校舎を増築するなり、新しい校舎を新築するなり、或いは生徒数の分散体制ってということも考えていかなければならないのではないのでしょうか。近くの行田小学校とかにどういう人達を入れるとか、色々と問題もありますけれども、その辺も考えていかなければならないような状況になってきております。どうかその辺も加味しまして、これからの市長の計画とか、市の計画というものをお聞きしたいと思っております。

【回 答】

学校の教室不足につきましては本市の西部地域におきまして、その傾向が強く現れているところでございます。特に葛飾小学校はここ数年児童生徒数の増加傾向が顕著に出ております。このような急激な児童生徒数の増加による教室不足解消のために今年度軽量鉄骨造り、プレハブ造りにより6教室分の校舎増築を行うこととなっております。しかし葛飾小学校、葛飾中学校の児童生徒数は今後も増加していくものと推計しておりますので、教育委員会内部に設置いたしました、教室不足検討会議の中で関係所管課の意見も聞きながら学区の弾力化等も含め鋭意改善方策を現在検討しているところでございます。学校の教室不足の問題は私共の重要な問題として捉えており、児童生徒の教育環境が悪化しないように勤めてまいります。

・京成東中山駅にエレベーターの設置について

【質 問】

京成東中山駅にエレベーターの設置等について発言させていただきま
す。駅の北側は最近マンションの分譲や戸建て分譲住宅、アパートがかな
り建っております。南側の方は羽黒神社周辺ですが、ここは古くからの住
民の方が多数おいでになりまして、町会では各種の補助金を申請する場
合に世帯における人数を記入してもらっていますが、羽黒神社周辺におき
ましては一人、二人、三人という家族層などの世帯が多くなっております。
そして敬老会に出席する資格を持った高齢者の方がおります。このよう
な人が京成東中山駅を利用するわけですので、私もあと何年かすればそう
いったものがあつた方がいいと思うようになりますし、敬老対象者におか
れましては、京成東中山駅に乗るときも下りるときもエレベーターやエ
スカレーターがほしいというのが実情でございます。また競馬場へ通うお
客さんもかなり高齢化が目立っておりまして、そういった方々の為にも
ぜひ京成東中山駅にエレベーターかエスカレーターの設置をお願いしたい
ということです。

【回 答】

東中山駅のエレベーター設置につきましては、高齢者の方ばかりでなく
マンションが増えておりますので、乳母車とか使われている若いお母様
にとってもエレベーターは必要だということは十分承知しております。ま
た、京成電鉄を初めとした各鉄道事業者は交通バリアフリー法という法
律があり、それに基づき一日あたりの乗降客数が 5,000 人を超える場
合、バリアフリー化の基準に適合させる努力義務が課せられております。
東中山駅は平成 19 年度における一日あたりの乗降客数が 7,792 人であり、
エレベーターを設置すべき駅となっております。京成電鉄を初め各鉄
道事業者は乗降客数や施設の状況等考慮しながらそれぞれの駅の整備
計画を立てておりますが、エレベーター等の施設を設置するには多額
な費用を要することから、整備するにあたっては自前というわけには
いかないことから、どうしても国と市からの補助金の交付が不可欠な
状況でございます。しかし、補助金を交付する国や市と致しましても
財政状況と相談しながら、各鉄道事業者との整備計画と調整を図り
ながら順次補助金を交付しているところでございます。駅の形状によ
り異なりますが、一般的にはエレベーター一基あたりの設置費用は約
5,000 万円程とのこと。

東中山駅につきましては、改札階に上がる山側のほうに 40 段近い階段、

海側のほうにその半分ぐらいの階段があります。また、ホームに下りる、階段が二つあります。それ全部つけるとなりますと4機必要となりまして2億円ほどの事業費が想定されます。これを京成電鉄、国、市がそれぞれ三分の一ずつ負担するということとなりますと6,000万から7,000万それぞれ負担しあうということだと思います。現在、市のほうでは本年度、東武鉄道、馬込沢駅と新京成の北習志野駅でバリアフリーの整備を実施しておりますけれども、市内には、9路線と鉄道路線が多いものですからまだバリアフリーをすべき駅が多数残されております。また京成線全線でも来年度以降バリアフリー化を必要とする駅が東京のほうも含めて9駅まだ必要な所がございます。東中山のエレベーター設置につきましては、必要性は十分認識はしておりますけれども、各鉄道事業者の整備計画や市の財政状況との調整を図りながら取り組んでいきたいと考えております。

・道路の側溝に蓋がかけられていない部分の整備について

ア) J R北側の西船5丁目21番地先から東中山1丁目19番地先間の用水路について

イ) J R南側の側溝の蓋かけについて

【質 問】

道路の側溝にかけられていない部分の整備について、2点ほどお願いいたします。まず、第一点につきましてはJ R北側の西船5丁目21番地先、県道原木中山線とJ R高架の交差している所、実はここに千葉県の本郷道路排水機場、反対側にホテルシャトーがあります。ここから東中山1丁目19番地先までの間に昔の用水路が残っておりまして、一部区間、スタジオアリクスからマルエツの駐車場までの区間は埋め立てられまして、上が歩道になっております。しかし大部分の区間は蓋がかけられておりません。この側溝は幅が約60cm、深さ60cmの大きなものでありまして、ゴミが捨てられ、一部は土砂が堆積して、夏には雑草が繁茂し、蚊の発生源になっています。しかし雑草は、最近市の方できれいに刈っていただきました。またこの道路は、歩道と車道の区分がない為にバイクによる引ったくりが発生しております。水路を埋め立てることにより歩道と道路が完全にガードレールで分かりますので、埋め立てていただければ、犯罪も防ぐことが出来ると思います。このようなことから側溝に蓋をかけるか、あるいは埋め立てて歩道にしていただけますようお願いしたいと思います。

第二に、反対側のJ R南側の地域です。こちらは農地と住宅地が混在しております。現在住宅建設が盛んに行われ、従来からの住宅地の付近の

側溝には蓋がかけられておりますが、最近住宅が建設された場所、あるいは駐車場、畑の付近の道路には蓋がありません。この為、5月のゴミゼロ、11月のきれいにする日に、特に感じるのは、側溝にタバコの吸殻、飲料水の空き缶、レジ袋に入ったゴミ等が捨てられております。これらに蓋をかけていただければある程度、解消されると思いますので、ぜひこれらに蓋をかけていただけますようお願いしたいと思います。

【回 答】

1点目のJR総武線北側の西船5丁目21番地先、高架下の所にあります、千葉県本郷道路排水機場から東中山1丁目19番地先までの水路、これにつきましては当地区の周辺の下水道整備が完了したことに伴い水路としての機能を必要としない状況になっております。60cm×60cmですけれども、水路の所、境界と道路の間が約1.5mございます。排水機場から約250mいった所までが水路になっておりまして、その先が一部歩道になっております。それとその先も約150mがまた同じような水路になっております。こういう状況ですのでゴミが捨てられたり、水が溜まったり不衛生な状況となっている事、更に歩道がなく歩行者の安全、防犯上の問題もあることから市と致しましては水路を埋め、道路整備を行いたいと考えております。埋め立てにつきましては、下水道部と調整を行っております。歩道の位置、幅員など、構造につきましては今後地元の皆様のご意見を伺いながら決めてまいりたいと考えております。

次に2点目のJR南側の側溝の蓋かけでございますが、市内には道路排水施設があります。U字溝の蓋をかけてない路線は数多くありますが、ただ蓋かけだけをしますと、道路面と蓋との段差が生じ、通行上支障となることから市と致しましては路面状況が悪く、全面改修を伴う場合においては排水状況や民地の高さ等を調査した上でU字溝の蓋かけ、或いは落ち蓋式U字溝、またはL字側溝に敷設替えを行っているのが現状でございます。現状を見ましたが、全線に渡ってU字溝という所ではないものですから、畑の所とか、マンションが出来た所などに点在しておりますので、もう少し十分調査を行いまして出来る所は早急にやっていきたいと思っております。それで現状を見て蓋をのせたら段差ができない所もありました。落し蓋用の側溝になっておりましたので、半分ぐらいはうちの方の手で蓋だけを設置できるのかなということでございますので、これにつきましては早いうちに実施してまいります。その他、道路との高さの関係もございまして、十分高さ等を調査させていただきながら対応については考えていきたい

と思っています。

・ J R 西船橋駅付近の環境整備について

ア) 北口ロータリーから国道 1 4 号線間の駐車禁止取締り強化について

イ) 北口周辺における風俗関係者の迷惑行為の取締りについて

ウ) 国道 1 4 号線「みずほ銀行」から「J A 西船橋」周辺の違法駐輪やバイクの違法駐車取締りについて

【質 問】

私達の住む町の環境と安全ということを少しお話をさせていただきます。特に西船橋駅の北口、前回の懇談会の時にもお話をしましたが、駅は大変立派になったと、それと同時に周辺は風俗店がたくさんできるようになったと、環境の悪化とまではいえませんが、そういった状況が見られる。また、北口のロータリーから 1 4 号線に至る商店街の中を通る線ですが、路上駐車されています。その車両が他の車の通行の邪魔になるような止め方をしている。大型バスは通れないでブーブー、警笛を鳴らしているといったようなことが見受けられますので、この点について駅周辺、環境整備をお願いしたいなと思います。続いて 1 4 号線を渡った向こう側「みずほ銀行」から印内葛飾線に至る間、それから印内葛飾線を渡って「木村建設工業ビル」、「早稲田予備校ビル」、この間の路上駐輪が非常に多いです。特に木村建設ビルの所には前から駐輪禁止の張り紙があったんですが、現在はわかりません。確かに置く場所がないということで路上に置かれるんでしょうけれども、6 月からは、「ふれあい福祉事業団」の方が立つようになりまして。見違えるほど減っております。ところが事業団の方がお見えになっていないと急激に増える。いわゆる「たちごっこ」の状況です。要望とすれば市の方も色々あるかもしれませんが、何とか北口に駐輪場を新設していただけないかと、それがお願いです。

【回 答】

駐車禁止の取り締まりにつきましては、私共も警察のほうに十分現地確認しまして色々申し入れをしております。また、1 8 年度から導入されました、駐車監視員制度のガイドラインによりこの地域のこの区間、最重点地域に指定されておりますので、終日監視員により巡回の取締りを行っているところとなっております。市としましても、駐車禁止の取締りの強化については所管の船橋警察署に申し入れを引き続きしてまいりたいと考

えております。それで問題のみずほ銀行からJ A西船橋、その周辺の駐輪についてであります。私共と致しましては放置自転車等禁止区域に指定しまして街灯指導員による違法駐輪、原付バイクの違法駐車等の啓発、指導および放置自転車等の撤去・移送を月一回程度実施しておりますが、放置自転車、原付バイクは未だ多く見受けられ歩行者等の通行を妨げ、周辺環境の悪化等の対策に苦慮しているところです。今後は当該地域を街灯指導員による啓発、指導を徹底すると共に放置自転車の撤去・移送および原付バイクは警察と連携の上で撤去日に合わせての実施等により一層強化してまいりたいと考えております。また駐輪場の不足についてであります。この解消につきましてはなかなか広い土地が駅周辺にはありません。しかしながら既設の西船橋駅第10駐輪場、これは駅のところに細長く広がっているところで線路に沿ったところです。それにつきましては、立体化等によりまして容台数の増設を今後検討してまいりたいと考えております。

【回 答】

風俗事業者によります環境整備につきまして、いわゆる不当な客引き行為等の事だと思っております。この点につきまして所轄であります船橋警察署に確認を致したところですが、この地区は平成18年から歓楽街対策指定を受けて、3カ年計画で不当の客引き行為の撲滅を目指して集中的に対策を講じている地区だということです。ちなみにこの歓楽街対策指定地域というのは県内で3箇所ございまして、一箇所はこの西船地区、もう一箇所は船橋駅周辺、もう一箇所は千葉市の富士見町というエリアだということです。市内には2箇所あるということで、そういったことから具体的には県警本部の風俗保安課というところから10名の職員派遣を受けまして取り締まりを強化しているという事です。併せて客引き行為を行っていると思われる店舗の建物の所有者にも協力を依頼しているということでございます。具体的には、事業者と契約切れとかがあった時にできれば契約しないようにと、そういった事だろうかと、これはお願いの範疇かと思っておりますけれども、そういったことをしております。このような事から、以前と比べればずいぶん減ってきたなというふうに警察のほうも言っているんですけれども、お話が地域からございますと言う事で、私の方で先日警察のほうにはお願いをしております。市と致しましても、平成18年から3カ年ということになりますと今年最終年になりますので、「いたちごっこ」という表現がありましたけれども、なかなか一掃するの

って難しいかなというふうに思いますけれども、ただ何回も繰り返すことによりましてだんだんなくなっていく、この船橋のこの地区は本当に取り締まりが厳しいんだなという事を植えつけるって言うことも大事だと思いますので、引き続き私の方も警察のほうには依頼してまいりたいと思っております。

・通行禁止区間における児童・生徒の安全対策について

【質 問】

通行禁止区間における児童並びに生徒の安全対策について、お願いしたいと思っております。4月初めにある某テレビで児童の通学安全の脅威と言う事で大分センセーショナルな内容で夕方報道されておりました。まさかこの西船地区、葛飾小学校とは思いませんでした。実際テレビ報道でも葛飾小学校あるいはその児童というコメントは出ておりませんでした。たまたま古作地区の加藤内科医院の看板でしたので、どうも見たことがあるなという事で、大分センセーショナルな内容でした。その内容は古作3丁目の11番から西船5丁目9番地、国道14号までの通称「オケラ街道」の交通規制についてです。これは現在スクールゾーンになっておりまして、朝7時から7時半まで生徒の通学の安全対策のために通常通行禁止となっております。生活のための地区に住んでいる方の一部の車については許容されているかと思うのですが、この件については、競馬場に抜ける原木中山線、それから印内線、こちらが朝通勤時に非常に混んでいるために、オケラ街道の方に車が集中するようです。それで私も2、3現状を見たんですけど、テレビの報道ほどセンセーショナルではなかったのですが、児童がすごく多く、児童は低学年の場合は大人と違って自分の身の安全について注意力が足りないもので、道路いっぱいに並んで通学しているわけです。それで父兄のお母さんたちが横断歩道の旗をさして何名か一応誘導しているようでしたが、車は今の所あんまりないように見受けたんですが、ガソリン高騰のおりかもしれないんですが、自転車ですね、朝の通勤帯、遅れまいと猛スピードですり抜けていくわけです。事故が起こってからでは間に合いませんので、市の責任も十分問われておりますので、今後早急に安全対策を講じてもらいたいと思っております。

【回 答】

通学禁止区域における児童・生徒の安全対策について、教育委員会では通学路につきましては、学校から要望がございましたら現場確認をし、交

通安全の為の注意喚起を促す立て看板を設置したり、またスクールゾーン規制箇所への馬柵の貸し出し等、教育委員会で対応できる事につきましては迅速に対応しております。しかしながら、教育委員会だけでは対応できない通学路における時間帯進入禁止等の交通規制につきましては学校と連携をとりまして交通管理者であります警察にお願いをしております。ただいまお話のありました通称オケラ街道ですが先日私も7時頃から葛飾小学校の校長先生、教頭先生とご一緒に子供達の登校の様子を見てきました。ほとんどの子供達が7時半から8時ごろの間に登校してきますので、その間は子供達の登校は、中学生もおりますので、非常に多いと感じましたけれども、この間も車は何台か通行いたしました。やはり8時前位になりますと地域の方がきっと通勤に出て行かれるとかというのもあるかと思うんですけども、急に車のほうが増えてまいりました。しかし、私も車よりもオートバイとか自転車の交通量が非常に多くて、車がないところではかなりのスピードで西門の方は、何ていうんですか、14号に下がってくる所は坂道になっていますので、だからちょうど子供が渡る所が非常にスピードを出して渡るような状況がございました。車よりも何か危険ではないかと私も感じたほどでございます。学校も、私共もですけども、警察に実は定期パトロールをお願いしてはいるんですけども、警察もここだけではないんですと言う事で、定期的には難しいですけど、先日私が行った次の日の7月2日にパトカー5台ぐらいでパトロールをしてくださったということです。校長先生も、時々でもいいからこのようにしていただければ抑止力にはなるかなと、話しておりました。現在学校では、子供達の安全についてPTAでも話し合いを重ねられ、そして校長先生、教頭先生、保護者の皆さんが登下校時には通学路に立って子供達を見守ってくださっておりますし、地域の方々にも見守っていただいております。教育委員会としましては子供達の安全な通学につきまして学校中心にPTAそして地域住民の皆様と連携を図りながら馬柵等の設置についても学校中心に考えていただいて交通安全対策の更なる推進を学校のほうへお願いしてまいりたいと考えております。

【回 答】

このオケラ街道でございますけれども安全確保の為、カラー舗装、外側線、注意看板等の設置等行ってまいりましたけれども、これからもPTA、町会、教育委員会、警察署と関係機関との連携を図りまして、児童・生徒の交通安全対策に協力してまいります。部分的には色々やってきてはおりますけれども、最近も歩道部分を一部施行させていただきました。私の方

も現地を色々見まして対応していきたいと思っておりますが、先程学校教育部長から自転車の話がございましたので、これについても何らかの対応はしていきたいと、しかし坂道になっておりますので、道路の真ん中を自転車の方がひどいときは3列くらい、3台くらいが並んで走っている状況がございました。私も十分認識しておりますので、そういう方面からでも協力させていただきたいと思えます。

・タバコのポイ捨て、路上喫煙禁止区域の延長について

【質 問】

タバコ大好きな方、それからタバコを販売している方もいらっしゃる、申し訳ない部分もあるんですが、私共の町会長からも出ました葛飾・印内線ですかその拡幅もだいぶ進んでいると、それで人の流れも多いと、そういう中でタバコのポイ捨て禁止区域を、もう少し延長することに対して検討をしていただけたらありがたいなと思えます。

【回 答】

市と致しましては条例を設置いたしまして路上喫煙の禁止、それからごみのポイ捨て禁止などをやってまいりました。重点区域とそれ以外の地域が定められているわけですが、大きな違いとしましては重点区域は罰金を取ると、それ以外の所は罰金を取りません。今お話のありました重点区域ですけれども、こちらの西船橋駅周辺の地域、それからJRの船橋駅の周辺地域、この2箇所を市と致しましては重点区域としております。ここは、電車乗換えとか、市民以外の方も大勢通りますことから、なかなか守って頂けないという事もありますので、私共の方も警察の職員が4名おまして、その方たちが罰金を徴収しているんですけれども、厳しく徴収しているという事でやってはいるんですが、その地域に一応限って行きたいと、今のお話はその地域広げてくれないかということかと思うんですけれども、この重点区域を広げてしまいますと市民の方がほとんど歩くような所まで広げていくことになり、いきなり罰金というのもなかなか難しいのかなと、私共としては啓発をしてご協力いただくという姿勢でいきたいと思っております。私共でこのような看板、2種類ほど用意して、プラスチックで作ったものもございますので、ご協力いただければ塀の所にちょっと掲示していただくとか、していただいてなるべくあまり厳しい措置をしないでご協力いただくということを進めていきたいと、それから啓発用のティッシュも用意しておりますので、市のクリーン推進課というところが所管

でございますのでお申出いただければ、お届けにあがりますので、こういった対応でいきたいと思っておりますのでご協力のほどお願いしたいと思います。

・旧葛飾川の下水道上部利用計画について

【質 問】

旧葛飾川の下水道上部利用計画について、速やかに推進して欲しいという事で意見を述べさせていただきたいと思えます。

議会の、一般質問で葛飾川が取り上げられ税金の無駄遣いであるとか、住民はまったく納得をしていないというようなご意見があつて、市も計画を引いているのではないかなと思えますが、この葛飾地域は巨木が何本かあつたり、古い町で、一昨年古作の貝塚の碑が競馬場の公園の中に立てられたり、また、子供達にとっては印内のジュエモンバナシが全国的に有名になつたりするなど文化と自然の豊かな所で、14号線沿いには自然の湧水の池が整備されたりしております。散策の方もいっぱいいらっしゃるんですが、オケラ街道は少々危険で行田に繋がる道路もなかなか散策には向かない。私達も子供達の通学路という事で、葛飾川に蓋をして欲しいという事は二十数年前から言っておりましたが、下水道がそこに埋設され整備されたようです。色んな史跡があつたりで文化の豊かな町、葛小、葛中の脇も流れていますし、西船保育園の所でもあります。子供達や子育てのお母さん達、それから子育ての町としてもたいへん素晴らしい町であつてほしい。そして船橋市の西の入口で、葛飾町つまり西船地区に入った時に、ああ船橋だと思える場所だと思うんですね。先日、船橋市の景観計画の概要も出たようです。ぜひ船橋市らしい景観を持った素晴らしい西船の町であつてほしいと思うんですね。葛飾川がただアスファルトの通学路になるだけではなく、水辺や史跡もあつて散策ができる私達が年を取って歩けなくなった時にも車椅子でも通れる、そういうものをつくりだしていく、それこそ十年以上かかるとは思いますが、住民がもっと関わって、市の中でも素晴らしいものになっていけるよう推進してほしいと思えます。物づくりは人づくりと申しますし、町づくりをしていくことは本当にここに住む人々の心を育てていく、特に小学生、中学生にとってはここが故郷になるわけですから、ただ下水道課の計画だけではなくて、都市計画課やみどり推進課も含めて、市として取り組んでいただきたいなと思っております。

【回 答】

葛飾川の上部利用計画につきましては、平成17年度全国都市水道計画策定モデル地域に選定されており、17年から19年度にかけて合計8回の懇談会を開催しております。これも市民と協働による懇談会でございます。その中で基本計画ができ、その基本計画について今年の1月29日に、地域の住民を対象に報告会を開催した時、様々な意見を頂戴しております。内容は、オープンスペースの有効活用については賛同をいただきましたが、せせらぎの是非とか、プライバシーの問題、生活導線の確保など、具体的な修正を求める意見も出されております。こうしたことから実施計画を行う前に、基本計画の地域住民や隣接の方々の意見を十分把握した上で実施することが望ましいと考えております。従いまして、当該地域ゾーンの合意形成が必要不可欠と考えております。今後は、この合意形成の修正作業を地域の要望に応じて実施してまいりたいと考えております。なお今年の5月に、地域の代表の方々にその主旨の内容をご説明いたしまして地域との意見の合意形成を図ってきた旨、お話してあります。

- ・葛飾小学校校舎の老朽化に伴う耐震補強工事について

【質 問】

東中山で3人目の娘を葛飾小に通わせているものです。先程の話と重なるんですけども、葛飾小はもう5年ぐらい前に耐震チェックをしてるんですが、その結果はかなり深刻だったと、その後、ずうっともうなおざりにほったらかしなんですね。今、現状はクラスはもう普通教室もう全部いっぱい、図工室等特別教室も全部使っています。今6年生が3階校舎、50年ぐらい前建った3階校舎の一階に入れられて、そして入り口がひとつしかない教室とかも使っています。つまり何か外部の侵入者やそれから四つ葉省にあったような地震があったら本当に壊滅まではいかないでしょうけれど、どういう状態になるかは大体想像がつくと思います。ずいぶん前から耐震補強について私は学校側に言ってるんですが、小栗原小はもう終わってるんですね。でもまだ葛飾小は終わってない。船橋は県の中でもワーストの方でした。新聞によりますと、その辺はどういうふうになっているのか。やはり教育現場というか子供達というのは世界の宝というか、これからの世の中を担う子供なんですから、最優先にそういう施設面を考えていただきたい。どんどん人口が増えて住宅も増えてるんであればそれだけ収益も、まあ素人ながらですけど、あるというふうに私思います。それなのになんかその辺がなおざりにされていて、今度9月にプレハブ校舎

が完成予定だったんです。それも結局新しい建設法等によって長く伸びると、具体的に何時になるかがわからない状態なんですね。やっぱり葛飾小、葛飾中は地域の避難場所なんですよ。そこん所もよく考えていただきたいし、やっぱり私は校長、それから施設部、教育委員会三つにファックス送りました。全部が何ていうんですか、あちら、あちら、あちらみたいに本当に失礼ですけど役所仕事というか、やっぱり三つがきちんと連携とって、子供達それから地域を守るといことで交通安全の件もですけど、本当に情熱持って誠意を持って一生懸命やっていただきたい。3年以内というのは、四川省のあれが来て国が3年以内と言ったから3年以内なんですよ。本当なら本当に喉の奥から手が出るほど、もう校舎は老朽化しているし、子供達もギュウギュウ詰めの中やってるんですね。先程も言っておりましたけれども、自由選択地域がもうそのままなんです。全部葛中、葛小が、何というのかな、安定しているとかというんで、どんどん選択してくるんですね。本当に溢れかえっている状態なんでその所は本当にわかってほしいです。もう私は子供3人目で今6年生なんです。それで私は多分年長者です、学校の中では、多分若い奥さんはなかなかこういうことは言いづらいと思うんで、最後の足掻きだと思って、本当にこの場を設けていただいてありがたく思います。宜しくお願いします。

【回 答】

質問がちょっと多かったもので、順次ご説明していこうと思っておりますけれども、最初に、まず数年前に姉齒の偽装事件を受けまして建築基準法が改正になった。そして先月の毎日新聞、また、先週のNHKの朝の特集でもやっておったんですけれども、建築基準法が改正になって、チェック機関が国の方の第3者機関になった。財団法人の建築センターになって、今マンション業者とか自治体が非常に見通しがつかない状態であると、いうような論調でございました。それがまず一点ございます。ただ先週、私共、教育長と私と施設課長とでお伺いいたしまして6年生の保護者の方にご説明したんですけれども、教室不足のプレハブ対応の件でございますけれども、今ですね、この間の説明会よりもひとつ進みまして、国の方には送りました。ですから国の方の許可が今、何時おりるかちょっとわからない所なんですけれども、非常に曖昧模糊としておりますけれども、おりましたらですね、これはもう早急に工事に入るように努力してまいります。

はい、最初9月に入る考えでございましたけれども、今、早ければ30日くらいでおりるとい情報は持っているんですけれども、ただこれも不確定な情報でありまして、確定的なことは言えません。ただ、おりましたら

工事は2ヶ月ほどで終わります。それで出来るだけ子供の安全・安心を守る上からも粗雑な工事が無いように突貫工事でやるのではなくて、十分基礎を固めて工事をやるようお願いはしております。ただ始まりましたら、そう時間はかからないと、業者の方からも聞いております。又もう一点、小栗原小学校が耐震工事をやっているということなんですけれども、船橋市、耐震数値の悪い所からやっております。ご指摘の3階校舎、かなり古いです。古いですけれども耐震数値は非常にいいんです。先程の法律が変わった。あれは0.3未満に対して補助率アップするということなんですけれど、3階校舎は、私の今、頭の中で、数値0.5はかなり0.6に近い数値を持っているんです。それで小栗原小ですか、向こうは0.26位だったもので、順次これは船橋81校、405棟あります。0.3未満がですね、25棟ありますけれども、0.3未満からまた数値の低い所から緊急性の高い所から順次進めていく考えでございます。また、先程市長からお話がありましたけれども、3年の時限律法ですから、これを好機と捉えまして、船橋も鋭意努力していく考えは持っております。いずれに致しましても子供達の学習環境の充実を図るよう努力してまいりますもので、今しばらくお待ち願いたいと思います。ご理解お願いしたいと思います。